子どもの広場

【春川との交流会】

７月２１～２４日の４日間，訪韓しました。２日目と３日目は，韓国春川教育大学校附設初等学校を訪問し，子どもたちや先生方に温かく迎えられて，交流会が始まりました。大きなホールで歓迎式を行いました。文化交流会では，両国を代表する踊りや楽器の演奏などを発表し合いました。春川の子どもたちは，かわいらしい民族衣装を身につけ，韓国の伝統を私たちに伝えてくれました。

ランチルームでの給食は，サムゲタンやナムルなど韓国を代表するメニューでしたが，本校の子どもたちが食べやすいように辛さを抑えてくださっていました。

午後は，伝統的な遊びや太鼓の演奏，韓服の着付けなどを体験しました。保護者の方の協力もあり，スムーズにいろいろなことに挑戦することができ，充実した文化体験になりました。

ホームステイ先では，韓国の生活がよりわかるようにと，食事や過ごし方を工夫してくださり，ここでも温かいもてなしを受けたようです。交流が深まったようで，次の日の合同授業では，肩を並べてお面や料理を作ったりするなど，会話は十分ではなくても，しっかり互いの気持ちがわかり合えている様子がうかがえました。

職員も子どもたちがホームステイ先に向かった後のレセプションで，意見交換をし，教育環境や年間行事予定など教育現場のことがわかり，同じ教員という立場での交流も深まりました。

国際交流は，他国のことを理解するだけが目的ではありません。他国を知ることで，自分の国を見つめ直すことにもなります。韓国の特徴やよさを知るとともに，日本の特徴やよさを再発見することができたのではないでしょうか。また，添乗員さんが「日本で大丈夫なことでも，外国はそうではない。気を引き締めて…」と何度も言われました。日本の当たり前は，世界の当たり前ではないという現実も感じたことと思います。

来年は，春川から来日されます。私たちが今回の交流でしていただいたようにおもてなしの心で，お迎えしたいと思います。両校の交流が，今後も充実し意義あるものにしたいと思います。

【ふれあい運動会～2年交流会】

２年生と附属特別支援学校と１回目の交流会を７月１０日に本校体育館で行いました。

事前に写真や自己紹介カードで互いのことを知ってはいましたが，初めの出会いは少し緊張気味の子ども達でした。しかし，グループ作りやボール転がしリレーなど種目を進めていくうちに，だんだん打ち解けて笑顔が見られるようになりました。最後に，輪になってタッチをして触れ合い，大盛り上がりで終わりました。運動会が終わった後も，自分から友だちに声をかけてお別れをしている姿が印象的でした。次回の交流会も楽しみです。

【小体連鳥取市水泳大会】

６年男子１００M自由形３位石井祐史
女子　５０M自由形１位田中　輝
（大会新記録）
５年男子　５０M自由形１位　志和尚希
女子　５０M平泳ぎ３位　岡本瑶美

【小体連鳥取県水泳大会】

６年女子５０M自由形１位　田中　輝
（大会新記録）

【鳥取県スポレク水泳大会】

６年女子５０M自由形１位　田中　輝

【鳥取市スポレク水泳大会】

６年男子５０M自由形３位　石井祐史
５０M平泳ぎ３位　松本和宏
女子５０M自由形１位　田中　輝
（大会新記録）
５０M平泳ぎ３位　井上　剛
女子５０M平泳ぎ２位　岡本瑶美
４年男子５０M自由形２位　西原　周
４年以下男子５０M平泳ぎ
１位　山田遼太郎
２００Mリレー２位
濱本魁誠，松本和宏，谷口真幸，石井祐史

【東部地区子ども造形展】

＜入賞＞
２年　坂口慎太郎
３年　柴原くるみ
４年　山口　大凱
山本　真緒
５年　瀧　和勝
６年　上中淳之介

＜入選＞
１年　春井　翔太
綿本　愛羽
２年　前田　清花
３年　森　一翔
５年　白築　隆誠
６年　酒井　陽

本屋さんになりたい

金澤久美子

私は幼稚園児のころ、「大きくなったら本屋さんになりたい」と言っていました。本好きな母が、決して裕福ではない家計の中から、本だけは惜しまずに与えてくれました。「読書が好き」という意識はなかったけれど、本に囲まれているとうれしかったのです。

そして職場体験研修で市内の書店で十年ほど前に、幼い頃の夢が叶ったのです。四月間働く機会がありました。

わくわくさせたんの児童書、最新の情報詰まった週刊誌などに囲まれ、本をアウトプットするのにはどの客様のニーズに応えるのか、どのようなレイアウトがよいのか、戦略を練ることも仕入れてきました。

やはり売れることが目的の世界でしたが、もらいました。

次第に「ここが学校図書館だったら……」と考えるようになりました。

「何を調べたいの？」と、子どもたちに聞いてみました。「これなら読めそう」「こんな本も所蔵してあるよ」。「図書館です。」「出合える場所になるのかな。書店の恵まれた子どもの本を豊かにとどけるのも、学校図書館の人に書店まで連れていってもらえる子どもがいるこれからも、好きな本を研修仕事は、学校図書館にたどりつくのです。書店の関わり方は、今、学校図書館に戻れるこのが大好きです。

本に囲まれていると感じます。